

一般廃棄物処理施設建設に係る建設委員会（以下「委員会」という。）は、五泉地域衛生施設組合（以下「組合」という。）が令和2年7月10日に公告した「五泉地域衛生施設組合 中間処理施設整備・運営事業」の総合評価一般競争入札の結果について、基礎審査を実施後、提案書の技術審査及び入札価格審査により総合的に審査を行った。

組合は、委員会による審査の結果を踏まえ、落札者を決定したため、委員会における評価の結果を審査講評として公表する。

令和3年3月23日

五泉地域衛生施設組合
管理者 五泉市長 伊藤 勝美

五 泉 地 域 衛 生 施 設 組 合
中 間 処 理 施 設 整 備 ・ 運 営 事 業
審 査 講 評

令和 3 年 3 月 23 日

五 泉 地 域 衛 生 施 設 組 合
一 般 廃 棄 物 処 理 施 設 建 設 に 係 る 建 設 委 員 会

五泉地域衛生施設組合 中間処理施設整備・運営事業 審査講評
目 次

第1章 事業概要	1
1 事業名称	1
2 公共施設の概要等	1
3 事業期間	1
4 事業方式	1
5 業務範囲	2
第2章 審査方法等	4
1 入札の方法	4
2 落札者決定までの経過	4
3 委員会の設置	5
4 委員会の開催経過	5
5 落札者決定の手順	6
6 審査手順	7
第3章 最優秀提案者の選定結果	10
1 資格審査	10
2 提案書の基礎審査	10
3 提案書の技術審査及び提案書に関するヒアリング	10
4 入札価格審査	14
5 総合評価値の算出	14
6 最優秀提案者の選定	14
第4章 総評	16

第1章 事業概要

1 事業名称

中間処理施設整備・運営事業

2 公共施設の概要等

(1) 事業予定地

項目	概要
計画地所在地	新潟県五泉市清瀬 84 番地 2 ほか
敷地面積	約 2.9ha

(2) 施設の概要

施設の種類	概要	
エネルギー 回収型廃棄物 処理施設	処理対象物	可燃ごみ、マテリアルリサイクル推進施設で発生する可燃残渣及び汚泥等
	処理方式	全連続燃焼式（ストーカ式）
	処理能力	122t/日（61t/24h×2 炉）
	エネルギー 回収率	16.5%以上
マテリアル リサイクル 推進施設	処理対象物	不燃・粗大ごみ、資源物等
	主要設備	破碎設備、受入選別設備、保管設備
	処理能力	11t/日

3 事業期間

事業期間は、特定事業契約締結日から令和 27 年 3 月 31 日までの期間であり、設計・建設期間及び運営・維持管理期間から構成される。

- (1) 設計・建設期間：特定事業契約締結日から令和 7 年 3 月 31 日まで。
- (2) 運営・維持管理期間：令和 7 年 4 月 1 日～令和 27 年 3 月 31 日まで。

4 事業方式

中間処理施設整備・運営事業（以下「本事業」という。）は DBO（Design：設計、Build：建設、Operate：運営）方式により実施する。

組合は、一般廃棄物処理施設（以下「本施設」という。）の設計・建設及び運営・維持管理に係る資金を調達する。なお、本施設は、組合が所有する。また、本施設の設計・建設業務については、循環型社会形成推進交付金の対象事業として実施する。

落札者の構成員、協力企業及び運営事業者は、選定事業者として、本施設の設計・建設業務及び運営・維持管理業務に係る本事業を一括して行う。なお、運営事業者は組合内に設立する。

5 業務範囲

(1) 事業者が行う業務範囲

事業者が行う主な業務範囲は、次のとおりである。

① 設計・建設業務

- ア 本事業において、設計・建設業務を担当する者(以下「建設事業者」という。)は、組合と締結する建設工事請負契約に基づき、本施設の設計・建設業務を行う。
- イ 設計・建設業務は、本施設の土木及び外構工事、建築物及び建築設備工事、機械設備工事、電気計装設備工事、配管工事、付替道路工事(測量含む)、用排水路工事及びその他の関連工事を行う。
- ウ 本施設の建設等に伴って発生する建設廃棄物等の処理・処分及びその他の関連業務、設計・建設に伴う建築確認等の手続き関連業務、環境影響評価モニタリング、本施設の試運転及び引渡性能試験を行う。
- エ 組合が行う、本事業に係る循環型社会形成推進交付金の申請手続等を含む行政手続等について、必要な協力を行う。

② 運営・維持管理業務

- ア 運営事業者は、組合と締結する運営・維持管理業務委託契約に基づき、一般廃棄物を受け入れ、要求水準書に規定する要求水準を満足する適正な処理を行う。なお、その際に、本施設の運営・維持管理業務として運転管理業務、維持管理業務、環境管理業務、有効利用等業務、情報管理業務、防災管理業務、その他関連業務等を行う。
- イ 運営事業者は、本施設に直接搬入された一般廃棄物を計量し、処理手数料の徴収を代行するものとする。なお、処理手数料は、組合の収入とする。
- ウ 運営事業者は、本施設を運転することにより発生する余熱を利用して発電及び場内熱利用を行う。発電電力は、本施設の電力を賄うとともに、余剰電力は、電気事業者へ売電を行う。余剰電力に係る収入については、組合の収入とする。
- エ 運営事業者は、本施設を運転することにより発生した主灰、飛灰処理物、破碎不燃残渣、処理不適物等を本施設内にて保管・貯留し、組合が指定する搬出車両への積込作業までを行う。
- オ 運営事業者は、本施設において回収される缶、びん、プラスチック製容器包装、金属類等の資源物について、本施設内にて適切に保管・貯留し、組合が指定する搬出車両への積込作業までを行う。
- カ 運営事業者は、本施設の見学希望者等について、組合と連携し、適切な対応を行う。
- キ 運営事業者は、組合の行う周辺住民からの意見や苦情への対応に対して支援を行う。
- ク 運営事業者は、環境影響評価モニタリングを行う。

(2) 組合等が行う業務範囲

組合等が行う主な業務は、次のとおりである。

① 用地の準備

本事業を実施するための用地は、組合が確保する。ただし、「2(1) 事業予定地」以外に用地が必要となった場合は、事業者が自らの負担で確保する。

② 環境影響評価の実施

環境影響評価手続きは、組合が実施する。

なお、事業者は、「環境影響評価」の内容を遵守する。

③ 一般廃棄物の搬入

分別に関する指導等の啓発活動を行うとともに、一般廃棄物の搬入は、構成市町が行う。

④ 資源物の資源化

本施設から回収された缶、びん、プラスチック製容器包装、金属類等の資源物の資源化は、組合が行う。資源物の売却収入は、組合の収入とし、再資源化費用が生じる場合は、組合の負担とする。

⑤ 主灰、飛灰処理物、破碎不燃残渣、処理不適物の最終処分

本施設から回収された主灰、飛灰処理物、破碎不燃残渣、処理不適物の最終処分は、組合が行う。最終処分により生じる費用は、組合の負担とする。

⑥ 本事業のモニタリング

組合は、設計・建設業務及び運営・維持管理業務の各段階において実施状況の監視を行う。

⑦ 住民への対応

組合は、周辺住民からの意見や苦情に対する対応を事業者と連携して行う。

⑧ 施設見学者への対応

組合は、行政視察、他団体視察等の対応を運営事業者と連携して行う。

⑨ その他

組合は、本事業に係る循環型社会形成推進交付金の申請手続き等を含む行政手続き等を行う。

第2章 審査方法等

1 入札の方法

入札の方法は、地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）第167条の10の2第1項に規定する総合評価一般競争入札方式により実施した。

2 落札者決定までの経過

落札者決定の経過は、表1のとおりである。

表1 落札者決定の経過

月 日 等	内 容
令和2年7月10日（金）	入札公告
令和2年7月10日（金）	入札説明書等（入札説明書、要求水準書、落札者決定基準、様式集、基本協定書（案）及び特定事業契約の契約書（案））の公表
令和2年7月21日（火） ～7月22日（水）	入札説明書等に関する現地見学会
令和2年7月10日（金） ～7月29日（水）	入札説明書等に関する質問の受付（第1回）
令和2年8月19日（水）	入札説明書等に関する質問の回答（第1回）
令和2年7月10日（金） ～8月26日（水）	参加資格審査申請書類の受付
令和2年9月1日（火）	参加資格審査結果の通知
令和2年9月18日（金）	対面的対話の実施
令和2年9月23日（水） ～10月7日（水）	入札説明書等に関する質問の受付（第2回）
令和2年10月29日（木）	入札説明書等に関する質問の回答（第2回）
令和2年12月11日（金）	入札提出書類の提出期限
令和3年2月20日（土）	提案書に関するヒアリング及び審査
令和3年2月20日（土）	開札
令和3年3月3日（水）	審査結果の通知及び結果の公表 落札者の決定及び公表

3 委員会の設置

提案書の審査は、公平性及び透明性を確保し、専門的知見に基づく評価を行うことを目的に、学識経験者2名、組合構成市町9名の計11名で構成される委員会において行った。

[委員の構成]

	氏名	所属
◎	姫野 修司	長岡技術科学大学大学院工学研究科 准教授
○	板谷 貴広	一般社団法人新潟環境事業支援センター 企画・支援 技術指導担当
	五十嵐 明	五泉市 副市長
	菅原 博徳	阿賀野市 総務部長
	南 秀之	阿賀町 副町長（令和2年4月10日から）
	五十嵐 剛	五泉市 環境保全課長
	山脊 富夫	阿賀野市民生部 市民生活課長（令和2年3月31日まで）
	宮嶋 正憲	阿賀野市民生部 市民生活課長（令和2年4月10日から）
	長谷川 忠市	阿賀町 町民生活課長
	塚野 亨	五泉市 財政課長
	大橋 晋一	阿賀野市総務部 企画財政課長
	渡部 和茂	阿賀町 総務課長（令和2年3月31日まで）
	野村 秀樹	阿賀町 総務課長（令和2年4月10日から）

※ ◎：委員長、○：副委員長

4 委員会の開催経過

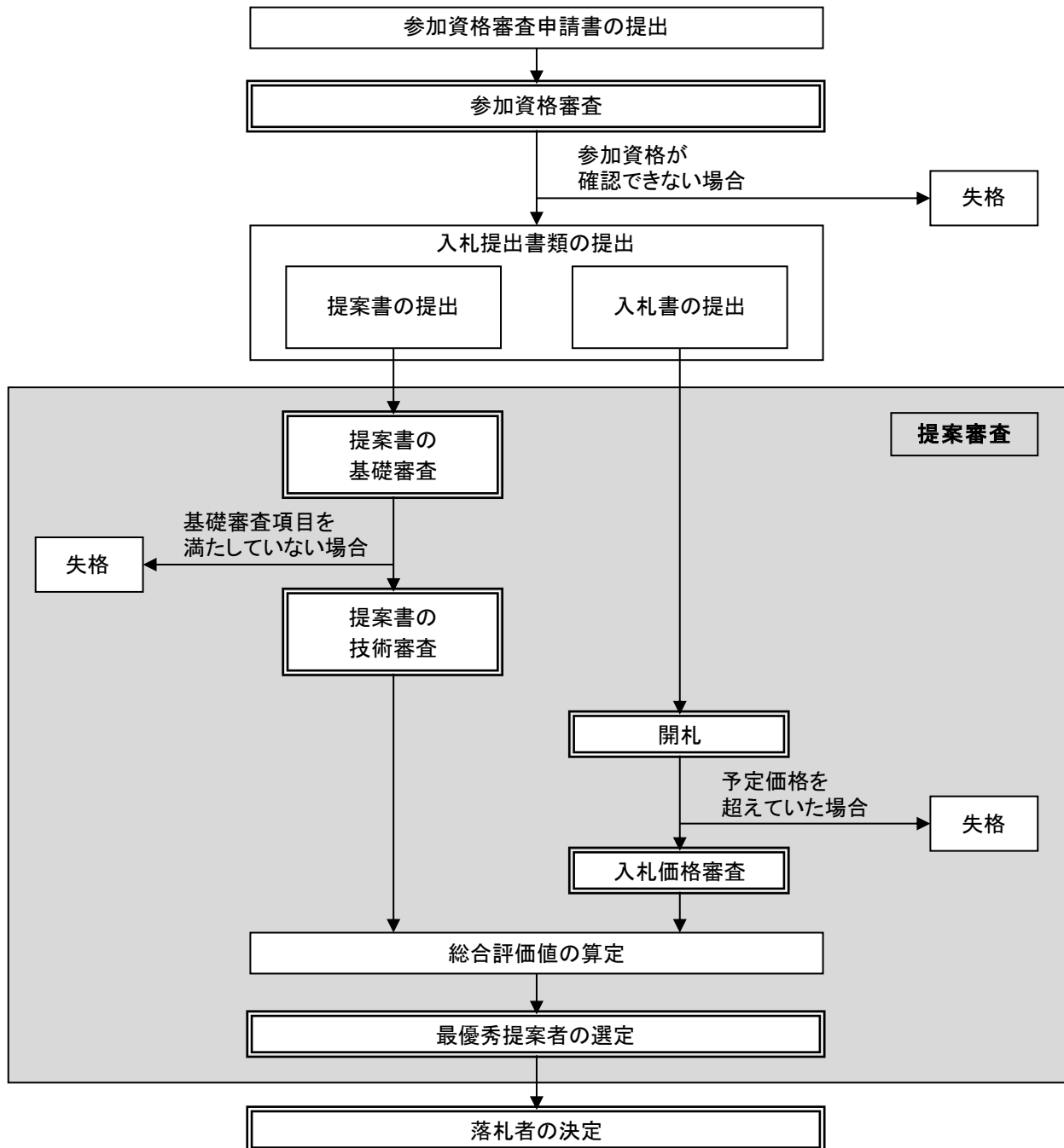
本事業の事業者選定における委員会の開催経過は、表2のとおりである。

表2 委員会の開催経過

日付	内容
令和元年8月19日（月）	第4回委員会 （整備事業の概要、基本設計見直し項目に関する協議）
令和元年9月26日（木）	第5回委員会 （見積方法、施設規模、見積仕様書（案）に関する協議）
令和2年2月5日（水）	第6回委員会 （実施方針、施設規模に関する協議）
令和2年4月10日（金）	第7回委員会 （予定価格、落札者決定基準、実施方針等に関する質問・回答に関する協議）
令和2年5月15日（金）	第8回委員会 （予定価格、特定事業の選定、事業者募集資料に関する協議）
令和2年6月3日（水）	第9回委員会 （事業者募集資料に関する協議）
令和3年1月27日（水）	第11回委員会 （基礎審査結果報告、提案書の技術審査に関する意見交換）
令和3年2月20日（土）	第12回委員会 （事業者ヒアリング、提案書の技術審査、開札、入札価格審査、総合評価値の算定、最優秀提案者の選定、審査講評の審議、報告）

5 落札者決定の手順

落札者決定の手順については、図1のとおりである。



※最優秀提案者を選定する委員会の事務は図中網掛け部分(ただし、提案書の基礎審査は組合が実施する。)

図1 落札者決定の手順

6 審査手順

(1) 参加資格審査

組合は、提出された参加表明書により、入札説明書に記載の入札参加者の備えるべき参加資格要件を満たしていることを確認する。なお、参加資格要件を満たしていることが確認できない場合は失格とする。

(2) 提案審査

① 入札提案書類の基礎審査

組合は、入札提出書類に記載された内容が、落札者決定基準に示す基礎審査項目を満たしていることを確認する。基礎審査項目について 1 項目でも満たさないことが確認された場合は失格とする。ただし、組合が軽微な不備・不足と考えるものにあつては個別に事業者を確認し、提案書全体に影響を及ぼすような重大な問題がなく、部分的な訂正や対応の確認のみで問題ないと組合が判断したものについてはその限りでない。

確認内容は、表 3 のとおりである。

表 3 確認内容

確認項目	内 容
入札提出書類の確認	・ 提出された入札提出書類がすべて揃っていること。
提案書の基礎審査	・ 提案書の内容が要求水準書に示す要求水準を満たしていること。 ・ 入札説明書及び様式集に示す提案書の作成に関する条件について違反のないこと。 ・ 提案書全体について、同一事項に対する 2 通り以上の提案又は提案事項間の齟齬、矛盾等がないこと。

② 提案書の技術審査

ア 提案書における審査項目及び配点

委員会は、表 4 に示す審査項目及び配点に対し、提案書等に記載された内容について審査する。

表4 審査項目及び配点

大項目	中項目	小項目	細目	No.	配点(60点)		
1 事業方針に関する事項					3点		
	(1) 本事業の実施方針			1	3点	3点	
2 設計・建設及び運営・維持管理業務に関する事項					35点		
(1) 安心・安全で安定した施設	ア 施設の安定稼働		① 基本性能の維持	2	3点	20点	
			② 処理システムの信頼性	3	4点		
			③ 日常の運営・維持管理	4	1点		
	イ 施設の安全性		① トラブルの未然防止・事後対策及び非常時の安全確保	5	4点		
			ウ 配置動線計画	① 屋外配置動線計画	6		3点
				② 屋内配置動線計画	7		3点
	エ 建設関連		① 施工計画	8	1点		
			② 建設工事期間中における環境保全対策	9	1点		
	(2) 環境に配慮した施設	ア 周辺環境との共存		① 地域の環境保全	10		4点
				② 二酸化炭素排出量の削減(定量評価)	11	1点	
	(3) エネルギーと資源の有効活用に配慮した施設	ア エネルギーの有効利用		① 発電効率及び余剰電力量(定量評価)	12	2点	6点
		イ 環境負荷低減		① 省資源、省エネルギー	13	1点	
		ウ 最終処分量の低減		① 資源化量(定量評価)	14	1点	
				② 最終処分量(定量評価)	15	2点	
	(4) 地域に密着した施設	ア 周辺環境への配慮		① 周辺環境との調和	16	2点	4点
		イ 環境学習計画		① 地域の活性化と環境学習拠点	17	2点	
	3 事業計画に関する事項					22点	
(1) 信頼性の高い運営管理体制	ア 組織体制		① 組織体制・人員配置計画	18	3点	9点	
	イ 事業の継続性の担保		① 事業収支計画、協力体制	19	3点		
	ウ リスクの管理及び対処方法		① リスク管理及びセルフモニタリング	20	3点		
(2) 地元企業や地元住民への配慮	ア 地域貢献		① 地域経済への配慮	21	2点	12点	
			② 地域経済への配慮(本店又は本社)(定量評価)	22	5点		
			③ 地域経済への配慮(支店又は営業所)(定量評価)	23	2点		
			④ 地域経済への配慮(地元人材の雇用)(定量評価)	24	2点		
			⑤ 地元経済の活性化	25	1点		
(3) その他	ア その他の提案		① 本事業への有効性	26	1点	1点	

イ 提案書の技術審査に関する得点化方法

- ① 提案を求めている審査項目においては、表5の5段階評価による得点化方法により技術得点を付与する。

表5 審査基準及び得点化方法

評価	審査基準	得点化方法
A	特に優れている	配点×1.00
B	AとCの中間程度	配点×0.75
C	優れている	配点×0.50
D	CとEの中間程度	配点×0.25
E	優れているとは認められない／要求水準を満たす程度	配点×0.00

- ② 各審査項目の評価点については、表6に示す算定式により、各委員が個別に行った評価の平均値とする。なお、平均値を求める際は、小数第3位を四捨五入した値とする。
- ③ ②の結果をもとに、各入札参加者の得点の合計を算出する。

表6 技術提案の得点算定式

算定式【技術得点算定式】	
$\left(\begin{array}{c} \text{当該入札参加者の} \\ \text{提案書に関する技術得点} \end{array} \right) = \frac{\Sigma (\text{各審査項目の配点} \times \text{審査基準})}{\text{委員人数}(11名)}$	

- ③ 入札価格に関する得点化方法

入札価格について、表7に示す算定式により得点を付与する。なお、得点は、小数第3位を四捨五入した値とする。

表7 入札価格の得点算定式

算定式【入札価格の得点算定式】	
$\left(\begin{array}{c} \text{当該入札参加者の} \\ \text{入札価格に関する得点} \end{array} \right) = 40点 \times \left(\frac{\text{最低入札価格}}{\text{入札価格}} \right)$	

- ④ 総合評価値の算定方法

「提案書の定量化審査（提案書に関する技術得点）」、「入札価格の定量化審査（入札価格に関する得点）」により算出した各入札参加者の得点から、表8に示す算定式により、各入札参加者の総合評価値を算出する。

表8 総合評価値の算定式

算定式【総合評価値の算定式】	
$\left(\begin{array}{c} \text{当該入札参加者の} \\ \text{総合評価値} \\ \text{(満点:100点)} \end{array} \right) = \left(\begin{array}{c} \text{当該入札参加者の} \\ \text{提案書に関する技術得点} \\ \text{(満点:60点)} \end{array} \right) + \left(\begin{array}{c} \text{当該入札参加者の} \\ \text{入札価格に関する得点} \\ \text{(満点:40点)} \end{array} \right)$	

第3章 最優秀提案者の選定結果

1 資格審査

令和2年7月10日に入札公告を行い、令和2年8月26日までに参加資格審査申請書を受け付けたところ、表9に示す2グループから申請があった。

組合は、参加資格の確認を行い、令和2年9月1日に代表企業に対し、入札参加資格を有することを書面にて通知した。

表9 参加資格審査申請書提出グループ

受付グループ名	桜グループ	牡丹グループ
企業グループ名	荏原環境プラントグループ	三菱重工環境・化学エンジニアリンググループ

なお、委員会による審査にあたっては、審査の公平性を期すため、提案書等すべての書類において各グループの企業名は伏せ、表9の受付グループ名で識別して審査を行った。

2 提案書の基礎審査

令和2年12月11日までに入札参加資格を有する2グループより入札提出書類が提出された。

組合は、提出された提案書をもとに基礎審査項目に沿って基礎審査を行った。提案書を提出した2グループは、いずれも組合が要求する水準を満足していたため、基礎審査に合格しているものと認められた。

3 提案書の技術審査及び提案書に関するヒアリング

委員会は、令和3年2月20日に提案書の技術審査を行った。審査に際しては、提案書に関する入札参加者による説明(プレゼンテーション)及び委員による提案内容に対する質疑(ヒアリング)を実施し審査を行った。

技術審査の審査項目について、適確な提案がなされているかの審査を行い、提案書に関する技術得点を算出した。なお、評価は、組合の要求する水準を満たしたうえで、より優れた提案に対して評価を行う加点方式である。

提案書の技術審査結果は、表10のとおりである。

表 10 提案書の技術審査結果（提案書に関する技術得点）

審査項目		No.	配点 (60点)	桜 グループ	牡丹 グループ
1 事業方針に関する事項		-	3点	2.25点	1.36点
(1) 本事業の実施方針		1	3点	2.25	1.36
2 設計・建設及び運営・維持管理業務に関する事項		-	35点	25.27点	20.48点
(1) 安心・安全で安定した施設		-	20点	13.70点	9.99点
ア 施設の安定稼働	① 基本性能の維持	2	3点	2.05	1.50
	② 処理システムの信頼性	3	4点	2.82	2.09
	③ 日常の運営・維持管理	4	1点	0.68	0.52
イ 施設の安全性	① トラブルの未然防止・事後対策及び非常時の安全確保	5	4点	2.82	1.82
ウ 配置動線計画	① 屋外配置動線計画	6	3点	2.05	1.70
	② 屋内配置動線計画	7	3点	2.05	1.36
エ 建設関連	① 施工計画	8	1点	0.64	0.45
	② 建設工事期間中における環境保全対策	9	1点	0.59	0.55
(2) 環境に配慮した施設		-	5点	3.73点	2.73点
ア 周辺環境との共存	① 地域の環境保全	10	4点	2.73	1.82
	② 二酸化炭素排出量の削減(定量評価)	11	1点	1.00	0.91
(3) エネルギーと資源の有効活用に配慮した施設		-	6点	5.34点	5.40点
ア エネルギーの有効活用	① 発電効率及び余剰電力量(定量評価)	12	2点	2.00	1.83
イ 環境負荷低減	① 省資源、省エネルギー	13	1点	0.61	0.57
ウ 最終処分量の低減	① 資源化量(定量評価)	14	1点	0.93	1.00
	② 最終処分量(定量評価)	15	2点	1.80	2.00
(4) 地域に密着した施設		-	4点	2.50点	2.36点
ア 周辺環境への配慮	① 周辺環境との調和	16	2点	1.18	1.18
イ 環境学習計画	① 地域の活性化と環境学習拠点	17	2点	1.32	1.18
3 事業計画に関する事項		-	22点	15.93点	12.20点
(1) 信頼性の高い運営管理体制		-	9点	6.07点	4.15点
ア 組織体制	① 組織体制・人員配置計画	18	3点	2.11	1.36
イ 事業の継続性の担保	① 事業収支計画、協力体制	19	3点	1.91	1.36
ウ リスクの管理及び対処方法	① リスク管理及びセルフモニタリング	20	3点	2.05	1.43
(2) 地元企業や地元住民への配慮		-	12点	9.18点	7.44点
ア 地域貢献	① 地域経済への配慮	21	2点	1.45	1.00
	② 地域経済への配慮(本店又は本社)(定量評価)	22	5点	5.00	4.01
	③ 地域経済への配慮(支店又は営業所)(定量評価)	23	2点	0.07	2.00
	④ 地域経済への配慮(地元人材の雇用)(定量評価)	24	2点	2.00	0.00
	⑤ 地元経済の活性化	25	1点	0.66	0.43
(3) その他		-	1点	0.68点	0.61点
ア その他の提案	① 本事業への有効性	26	1点	0.68	0.61
提案書に関する技術得点		-	60点	43.45点	34.04点

提案書に関する各審査項目における講評は、表 1 1 のとおりである。

表 1 1 各審査項目の講評

審査項目		講評
1 事業方針に関する事項		
(1) 本事業の実施方針		・桜グループは、施設整備の基本方針に沿った具体的な提案がされている点を評価した。
2 設計・建設業務及び運営・維持管理業務に関する事項		
(1) 安心・安全で安定した施設		
ア 施設の安定稼働	① 基本性能の維持	・桜グループは、設計、建設、維持管理、寒冷地対策について、幅広い視点から具体的な提案がされている点を評価した。
	② 処理システムの信頼性	・両グループとも、最新技術を用いたストーカ炉及びリサイクルシステムの提案がされている点を評価した。 ・桜グループは、安定・安全運転に対する運転監視方法について、具体的な提案がされている点を評価した。
	③ 日常の運営・維持管理	・桜グループは、日常の維持管理計画について、具体的な提案がされている点を評価した。
イ 施設の安全性	① トラブル未然防止・事後対策及び非常時の安全確保	・両グループとも、過去のトラブル経験を活かし、代表企業のネットワークを活用した災害対応の提案がされている点を評価した。 ・桜グループは、管理組織の編成について、具体的な提案がされている点を評価した。
ウ 配置動線計画	① 屋外配置動線計画	・両グループとも、地盤の嵩上げによる水害対策や一般持込者への対応に係る提案がされている点を評価した。 ・桜グループは、交差の少ない動線計画の提案がされている点を評価した。
	② 屋内配置動線計画	・桜グループは、交差の少ない動線計画の提案がされている点を評価した。
エ 建設関連	① 施工計画	・桜グループは、降雪時の対策について、具体的な提案がされている点を評価した。
	② 建設工事期間中における環境保全対策	・桜グループは、周辺地域の状況を考慮した具体的な環境保全対策の提案がされている点を評価した。
(2) 環境に配慮した施設		
ア 周辺環境との共存	① 地域の環境保全	・桜グループは、運転管理上における排ガス基準を確実に遵守する方法について、具体的な提案がされている点を評価した。

審査項目		講評
	② 二酸化炭素排出量の削減（定量評価）	・桜グループは、高効率発電による二酸化炭素排出量の削減量が多く、高評価となった。
(3) エネルギーと資源の有効活用に配慮した施設		
ア エネルギーの有効利用	① 発電効率及び余剰電力量（定量評価）	・桜グループは、高効率発電による余剰（売電）電力量が多く、高評価となった。
イ 環境負荷低減	① 省資源、省エネルギー	・桜グループは、低環境負荷材料使用量及び用役削減量について、具体的な提案がされている点を評価した。
ウ 最終処分量の低減	① 資源化量（定量評価）	・牡丹グループは、高い資源化率の提案等により、資源化量が多く、高評価となった。
	② 最終処分量（定量評価）	・牡丹グループは、最終処分量削減対策の提案等により、最終処分量が少なく、高評価となった。
(4) 地域に密着した施設		
ア 周辺環境への配慮	① 周辺環境との調和	・両グループとも、周辺環境と調和したデザインとともに2市1町の伝統を取り入れる提案がされている点を評価した。
イ 環境学習計画	① 地域の活性化と環境学習拠点	・桜グループは、各項目について多岐に渡る具体的な提案がされている点を評価した。
3 事業計画に関する事項		
(1) 信頼性の高い運営管理体制		
ア 組織体制	① 組織体制・人員配置計画	・桜グループは、実効性の高い組織体制・人員配置であるとともに、運営時の役割分担に優れた提案がされている点を評価した。
イ 事業の継続性の担保	① 事業収支計画、協力体制	・桜グループは、事業経営計画、事業収支計画及び協力体制について、安定した提案がされている点を評価した。
ウ リスクの管理及び対処方法	① リスク管理及びセルフモニタリング	・桜グループは、各段階におけるリスク管理方法が提案されている点を評価した。
(2) 地元企業や地元住民への配慮		
ア 地域貢献	① 地域経済への配慮	・桜グループは、本地域内に本店等を有する地元企業の活用に最大限配慮した提案がされている点を評価した。
	② 地域経済への配慮（本店又は本社）（定量評価）	・桜グループは、本店又は本社への地域貢献金額が大きく、高評価となった。
	③ 地域経済への配慮（支店又は営業所）（定量評価）	・牡丹グループは、支店又は営業所への地域貢献金額が大きく、高評価となった。
	④ 地域経済への配慮（地元人材の雇用）（定量評価）	・桜グループは、地元人材の雇用に係る地域貢献金額が大きく、高評価となった。

審査項目		講評
	⑤ 地元経済の活性化	・桜グループは、地元の宿泊業や飲食サービスの積極的な利用に加え、地元経済の活性化について具体的な提案がされている点を評価した。
(3) その他		
ア その他の提案	① 本事業への有効性	・桜グループは、最新技術の導入に加え、情報発信について具体的な提案がされている点を評価した。

4 入札価格審査

委員会は、令和3年2月20日に提案書の技術審査終了後、組合にて開札を行い、各グループの入札金額が予定価格を超えていないことを確認した。

委員会は、開札結果の報告を受け、入札価格に関する得点化を行った。

入札価格審査に関する得点結果は、表12のとおりである。

表12 入札価格に関する得点化の結果（入札価格に関する得点）

受付グループ名	配点	入札価格(税抜)	入札価格に関する得点
桜グループ	40点	26,100,000,000 円	35.54 点
牡丹グループ		23,188,800,000 円	40.00 点

5 総合評価値の算出

委員会は、令和3年2月20日に「提案書に関する技術得点」、「入札価格に関する得点」を加算して、表13のとおり総合評価値を算出した。

表13 総合評価結果（総合評価値）

受付グループ名	提案書に関する技術得点(A)	入札価格に関する得点(B)	総合評価値(A)+(B)	最優秀提案者
桜グループ	43.45 点	35.54 点	78.99 点	○
牡丹グループ	34.04 点	40.00 点	74.04 点	

6 最優秀提案者の選定

委員会は、上記の結果に基づき「桜グループ（企業グループ名：荏原環境プラントグループ、代表企業：荏原環境プラント株式会社 営業本部）」を最優秀提案者として選定した。

最優秀提案者の企業構成は、表14のとおりである。

表 1 4 最優秀提案者の企業構成

受付グループ名	桜グループ
企業グループ名	荏原環境プラントグループ
代表企業	荏原環境プラント株式会社 営業本部
構成員	株式会社大原鉄工所
協力企業	横山建設株式会社 株式会社坂詰組 山隆リコム株式会社 株式会社エコガード新潟

第4章 総評

本事業は、五泉市、阿賀野市、阿賀町で構成される五泉地域衛生施設組合が広域処理施設（エネルギー回収型廃棄物処理施設及びマテリアルリサイクル推進施設）を整備し、20年間の運営をDBO方式で実施するものである。

この施設は、今後の組合における循環型社会形成を担う中核施設として、住民や民間事業者から広く注目を集めてきたところである。

このような背景を踏まえ、委員会は、総合評価一般競争入札により最優秀提案者を選定するに当たって、公平性及び透明性に配慮するとともに、地域や行政のニーズへの適合性を重視し、事業者選定のための審査を適正に実施した。

今回、入札に参加した2グループの提案は、いずれも本事業の目的や各業務の内容について組合が要求する水準を上回る提案内容であった。

処理システムに関する事項では、2グループとも、組合の趣旨を十分理解したうえで、最新技術を導入した内容が提案されており、高く評価された。

また、施設の安全性、エネルギーの有効利用、組織体制、地域貢献に関する事項では、荏原環境プラントグループ（受付グループ名：桜グループ）が高く評価された。

一方、最終処分量の低減（資源化量、最終処分量）に関する事項では、三菱重工環境・化学エンジニアリンググループ（受付グループ名：牡丹グループ）が高く評価された。

落札者決定基準に則り厳正なる審査の結果、委員会では、提案書に関する技術得点と入札価格に関する得点を合計した総合評価値で最も高い得点を獲得した「荏原環境プラント株式会社 営業本部」を代表企業とする荏原環境プラントグループ（受付グループ名：桜グループ）を最優秀提案者として選定するに至った。最優秀提案者は、高い焼却処理技術と環境性を有し、地域や行政のニーズにも配慮されており、提案内容が具体的である点が高く評価された。

なお、委員会の審議において、上記の事項を評価する一方で、荏原環境プラントグループ（受付グループ名：桜グループ）の提案内容に対して、各委員から意見が挙げられた。組合及び最優秀提案者は、本事業が組合行政の重要な役割を担うものであることを認識し、本事業をより良いものとするために、必要な対応に努めることを期待したい。

- ① 提案内容の確実な実施に努めていただきたい。
- ② 構成市町の意向を反映した施設建設及び運営・維持管理に努めていただきたい。
- ③ 住民に広く開放され、親しみのある施設の建設及び運営・維持管理に努めていただきたい。
- ④ 本施設が担う役割を理解し、さらなる省エネルギー化や最終処分量の低減に努めていただきたい。

最後に、2グループにおいては、提案内容が多岐にわたることから、提案書の作成において多大な労力及び費用負担があったことが想定される。そうしたなかで提案をまとめた応募者の熱意及び姿勢に敬意を表するとともに、深く感謝したい。

令和3年3月23日

一般廃棄物処理施設建設に係る建設委員会 委員長 姫野 修司